

ほっとハッと通信

柏子どもの文化連絡会

2020.3月

2020年3月5日発行 NO.221
 発行者 柏子どもの文化連絡会
 発行部数 600部

〈特集〉「子どもたちに夢を！たくましく
 豊かな創造性を！」を合言葉に

NPO法人 流山おやこ劇場

流山市で活動する NPO 法人流山おやこ劇場(以下流山おやこ劇場と略す)は「子どもたちに夢を！たくましく豊かな創造性を！」を合言葉に、地域が子どもたちの笑顔で溢れるように…と願い、様々な活動をしている。江戸川台の劇場事務所を訪ねて、お話を伺った。

流山おやこ劇場は、1966年に福岡で始まり、全国に広がった子ども劇場・おやこ劇場の活動の流れをくんで1986年に発足し、2006年10月、創立20周年を機にNPO法人として再出発した。

「子ども個々にとって本物の体験」を提供したいという流山おやこ劇場、2019年度は、

*2回の鑑賞会(人形劇とオペラ)、オペラの鑑賞会に向けたワークショップ

*体験活動(幼児～大人)…「げきじょうっこまつり」、「あそぼの会」(夏まつり、ハロウィン、たこあげなど7回実施)

*高学年活動(小4～青年)…「子どもキャンプ」(3泊4日)、「^{りんぎょ}林魚っ」(中学生以上のお泊まり会。1泊2日)、「春の



合宿」(1泊2日、春休み予定)

その他、子育て応援サークル「ぶらんこ」の運営などを行った。

《柏子どもの文化連絡会って?》



会員を募集しています

1994年発足。人と人のつながりの中で子どもたちの心が豊かに育ってほしいと願って活動しています。

2011年度には、子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣より表彰を受けました。

★現在の主な活動★

- ・「柏市おはなし会S' わくわく人形劇まつり」
- ・「増尾のもりでいっしょにあそぼう！」
- ・小学生以上の子どもの居場所「The みんなのひろば」
- ・会報「ほっとハッと通信」発行
- ・障がいのある子どもたちへの情報紙「るって！」発行
- ・講演会などの企画

子どもや子育てに関わる活動をしている方や、活動に参加してみたい方大歓迎です。事務局までお問い合わせください。

《2020年3月現在の会員数/団体12・個人59・賛助3》

事務局

携帯 090-7708-0691

Fax 04(7108)1771

E-mail

kashiwakobunren@gmail.com

URL <http://kashiwa-kobunren>.



NO. 221(2)

現在、会員は121人。子どもも大人も「やりたいを形に！」をモットーに主体的に創造的に活動している。

その流山おやこ劇場が、このたび企画したのが名古屋の人形劇団むすび座による人形劇「チト～みどりのゆびを持つ少年～」(原作「M・ドリユオン、脚色篠原久美子、演出福永朝子」)。むすび座は1967年の発足以来数々の人形劇を創り、その活動は東海地方を中心に全国に渡り、海外公演も行っている。劇団創立50周年を記念して創られた「チト」は、愛と平和がテーマのスケールの大きい舞台だ。これまでも等身大の人形を見事に操り、生きとした舞台を創ってきたむすび座ならではの作品に違いない。(詳細は劇団ホームページを、「人形劇団むすび座」で検索してください)



名古屋でこの作品を観た流山おやこ劇場のメンバーは「ぜひ、流山に呼びたい！」との思いを強くしたそうだ。しかし、キャスト13人スタッフ4人

で創る大掛かりな舞台を呼ぶには、費用もかかる。関東での上演は流山を含め2公演しかない。「子どもたちの未来のために」と理事長の小澤孝江さんは語る。「平和の祭典オリンピックの年だからこそ、文化の面からも子どもたちに届けたい！流山だけでなく東葛地域の人達に輪を広げたい」と思いは熱い。

人形劇団むすび座公演

「チト～みどりのゆびを持つ少年～」

と き 5月6日(水・祝)午後2:00～3:50
(開場午後1:30)

ところ 流山市文化会館 大ホール

前売券 子ども券2000円(3歳～高校生)
おとな券3000円

当日券 各500円増

※2歳以下入場不可

お申込み・お問合せ

NPO法人 流山おやこ劇場

Mail noyako085@gmail.com

HP <http://n-oyako.sakura.ne.jp>

で創る大掛かりな舞台を呼ぶには、費用もかかる。関東での上演は流山を含め2公演しかない。

「子どもたちの未来のために」と理事長の小澤孝江さんは語る。「平和の祭典オリンピックの年だからこそ、文化の面からも子どもたちに届けたい！流山だけでなく東葛地域の人達に輪を広げたい」と思いは熱い。

「あそびのスキルアップ講座」ご報告

2月16日(日)にパレット柏であそびのスキルアップ講座第二弾を開催しました。スタッフを含む34名の参加で、集まった皆さんは子どもにかかわるお仕事の方が多く、終始穏やかに進行。早速、講師のしみちゃんからの遊びのお題が出ると全員必死に行き、その真面目な取り組みが笑いを誘いました。

大人が2時間、目一杯遊んで笑って、共感して子どもに戻った貴重な体験でした。

あそぶとは、心のありさま。心のエネルギーや、心が動く場。低年齢化が進むTVゲームの世の中ですが、子ども達には、原点である遊びをみんなで考え共有してたくさん心を動かして、今しか出来ない経験を積んで欲しいなあと思いました。

(チームスキルアップ 瀬口かおり)

NPO法人あそび環境 museum アフタフ・バーバン
清水洋幸氏(しみちゃん)による第2弾

・具体的な活動の引き出しだけではなく、子どもの置かれている状況を考えるいい機会となりました。

・子どもの「こころを動かす」という表現がわかりやすく、この講座で自分のこころが動かされ、たくさんの気づきをいただきました。

・職場で取り入れたいと思う遊びがいっぱいでした。どのように取り入れようか考えながら参加しました。

という具体的な感想や、「また是非受けてたい。」

「あっという間で楽しい2時間でした」「来年度もありますよね？」という声までいただきました。みなさんのスキルがアップして笑顔で帰宅する姿に運営側としても大満足の講座でした。

(チームスキルアップ ーノ瀬薫)

藤田浩子の 少し昔のこと 〈61〉

新聞紙

私が子どものころ、新聞は1枚(4面)でした。1面2面は世の中の大事なニュース3面は庶民の出来事でした(今でも庶民の出来事は3面記事と言います)。当時世の中のニュースを知らせてくれるのは、テレビはありませんでしたから、ラジオと新聞でしたが、そのラジオと新聞が戦争中は国に統制され、大本営(天皇に直属する最高機関)発表のニュースしか知ることができませんでした。そんなわけで「新聞(記事)」はあまり役には立たなかったのですが「新聞紙」はとても役に立ちました。今みたいに紙も豊富にありませんでしたから、お習字の練習に新聞紙を使いました。お弁当を包むのも新聞紙でした。卵屋のおばさんは卵を10個、割れないように上手に包んでくれました。



果樹農家では新聞紙で袋を作り、それをモモやリンゴの袋かけに使いました。箒で掃き掃除をするときには、濡らした新聞紙をちぎって撒いておくと、埃が舞い上がらないし濡らした新聞紙に埃が付くし、一石二鳥でした。トイレでお尻を拭くのも新聞紙でした。

ですから、新聞紙はなかなか子どもの手には回ってこなかったのですが、それでも親に頼み込んで新聞紙を分けてもらおうと、堅く筒にして刀にしたり、帽子を作ったり、はしごを作ったり、最後は、ちぎって玉にして投げ合ったり、的に当てたりして遊びました。最後の最後は風呂の焚きつけ。とにかくおもちゃ作りにはとても有能な「新聞紙」だったのですが、高度成長期を経て、いくらでも手にはいるようになったら、同時におもちゃ屋も増えて、おもちゃは「作る」ものから「買う」ものになってしまいました。今は新聞を購読しない家庭も増えました。新聞紙遊びなんて無駄かなと思いつつ、保育士研修で紹介しています。

リレー連載 <194>

わたしの大好きな絵本

(北崎 圭太 NPO 法人アフタフ・バーバン関西 /
清水 洋幸の後輩)

『やっぱりおおかみ』

作・絵 佐々木マキ
福音館書店

保育士の妻が持っていたのでもなく、娘のために買ったのでもなく、大人になった自分が欲しくて買った唯一の絵本です。

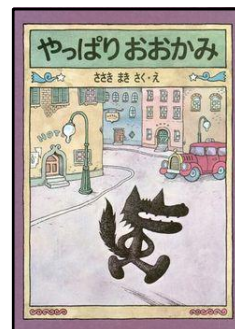
もともと村上春樹さんの小説カバーが好きで興味があつた佐々木さん。大人になってその絵本の世界に触れて、なんてお洒落で、奇想天外で、奥深いんだろうとファンになりました。中でもこの『やっぱりおおかみ』!

表情のない影のような姿のおおかみが、いくつかの街をひとりぼっちで歩く。出てくるセリフはひらがな一文字「け」のみ。

表情がないからこそ、おおかみの心情を読み手は深く想像することができます。

決して大人向けの絵本ではないので、娘たちとも何度も好んで読みました。そんな中、そのアナーキーな空気感にうっとりする父親と、ひらがなを覚えてた5歳児が、声をそろえて「け!」を連呼するという素敵な光景も生まれました。

他にも(こちらは表情豊かな)おおかみが七転八倒する「ぶたのたね」シリーズもオススメです。



情報コーナー

★団体会員
☆個人会員・賛助会員
関連団体

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、さまざまイベントが中止になっています。このコーナーには2月28日現在、開催の確認ができたものを掲載していますが、今後の状況次第では延期や中止になることがあるかもしれません。事前に主催者にご確認ください(通信局)

◆おはなしあっぴっぴ ★ 〈おはなし会〉

※3月13日(金)のおはなし会は中止です

とき 4月10日(金)11:00~11:30
ところ 根木内こども館(松戸市根木内145)
内容 絵本、パネルシアター他
問合せ 社会福祉法人 晴香 子育て支援
☎ 047-315-2985

◆ミニシアターはらぺこくん ☆ ※3月14日(土)のおはなし会は中止です 〈4月のおはなし会〉

とき 4月11日(土)
①10:45~11:15...4才~小学生向け
②11:30~12:00...1才~4才向け
ところ モラージュ柏1階モラージュルーム
(ヤオコー側エレベーターホール横)
内容 大型絵本「ちゅーちゅー」
大型絵本「だるまさんと」「だるまさんに」
他、年齢別の紙芝居、歌あそびなど
問合せ ☎ 04-7133-7163 熊谷

◆フリースクールのお会・あそぼうよ

※3月14日(土)の「あそぼうよ」は中止です

とき 4月11日(土)11:00~午後2:00
ところ 松葉第一近隣公園(野球場隣)
内容 おおなわであそぼう!
食べもの:カレー50円、あそぼうパン50円、マッシュマロ焼き20円※ご飯とスプーンを持ってきてね。
問合せ ☎&Fax 04-7134-2771 後藤
URL <http://asoboyoi.inaa.net/>

※費用について記載のないものは無料。申込について記載のないものは、当日直接会場へ。

◆柏ゆうび&フリースクールゆうび小さな学園 ☆ 〈不登校生の胸の内を想い支援の手だてを探る会〉

とき 3月14日(土)午後2:30~4:30
ところ 柏ゆうび(バス柏駅西口3番乗り場13:50、14:11発 柏06系統(免許センター行など「新宿台」下車)
内容 不登校生がおうちにいる方、いた方、不登校生、不登校生だった方、関係者、関心のある方、どなたでもお誘い合ってお出かけ下さい。お茶を飲みながら、ゆったりお話ししましょう
問合せ ☎ 04-7146-3501
URL <http://www.yuubi.org/>

◆はぐはぐ★子育て応援フォーラム柏2020
延期(一部中止)です。延期情報は、決定次第、こどもを育む子育てサイト「はぐはぐ柏」内フォーラムニュースにてお知らせがあります。

◆自分の責任で自由に遊ぶ

1日プレーパーク in 沼南 冒険遊び場

とき 3月21日(土)11:00~午後2:00 小雨決行
ところ 大津ケ丘中央公園(柏市大津ケ丘2-1)
内容 ロープあそび、ハンモック、木工、けん玉、皿回し、こま、ベーゴマ、釘さしなど カレー(100円)、あそぼうパン作り(50円)、マッシュマロ焼き(20円)
持ち物 カレーを入れる容器とご飯、スプーン、水筒、レジャーシート
※ゴミは持ち帰りましょう!汚れてもよい服装で。
問合せ ☎ 080-3424-3502 左合



◆(特)NPOこどもすぺーす柏 ★

※おやこ舞台鑑賞会「いおり博士とこうじくんの理科室
パフォーマンスショー」(3月22日)は中止です
くパレットおはなし会 >

と き 4月1日(水)10:30~11:00

ところ パレット柏 多目的ルームA

内 容 絵本読み聞かせや手遊び、体操もするよ!

問合せ (特)NPOこどもすぺーす柏

☎ 080-3738-8451

◆人気のかみしばい展 ☆

と き 3月22日(日)~4月4日(土)

午後 1:00~6:00 ※水曜定休

ところ Huckleberry Books (ハックルベリーブックス)

内 容 堀内誠一、まついのりこ、二俣英五郎、かさとし、せなけいこ、長野ヒデ子、スズキコージ、和歌山静子、武田美穂、ひろかわさえこ、山本祐司、とよたかずひこ

広く愛されている紙芝居の数々を一挙展示! 試演舞台コーナーもあります! 演じてみよう! 楽しもう! (協力: 童心社) スズキコージ新作紙芝居「ドラゴンのバラ」の原画も展示

・3/22(日) **オープニング・イベント**

午後 4:00~「ドラゴンのバラ」ほか 人気紙芝居実演&オープニングパーティー(参加自由・もちより歓迎)

・3/29(日) **紙芝居を知ろう!**

中川理恵子さん(紙芝居研究家)

① 11:00~12:00

トーク「紙芝居って何?」(500円お茶つき)

② 午後 1:30~4:30

体験「紙芝居を作ってみよう!」(700円)

①&②両方参加 1000円

・4/4(土)午後 2:00~ **紙芝居の魅力って?**

長野ヒデ子さんトーク&サイン会

(定員 20名・500円・お茶お菓子つき)

問合せ ☎・Fax 04-7100-8946

HuckleberryBooks(ハックルベリーブックス)

詳細は→ <http://www.huckleberrybooks.jp/>

◆柏おもちゃ図書館 “かたつむり” ★

障害のある子や兄弟姉妹がおもちゃで遊んだり、

親同士おしゃべりをしたり、親子遊びと交流のサロン

※3月は中止、4月については未定です。お問い合わせください。

と き 4月12日(日)10:00~午後 3:00

(12:00~午後 1:00 休み)

ところ 柏市中央保健センター 測定室(柏市柏下
66-1 保健勤労会館1階)

問合せ ☎ 070-6408-0081 菅井



◆茶道に親しむ会 ★

と き 4月12日(日)10:00~11:00

ところ 光ヶ丘近隣センター 2階和室3

内 容 親子で茶道に親しむ

対 象 幼児~小学生と保護者

参加費 500円(和菓子代含)

講 師 大日本茶道学会正教授 安武仙佐

申 込 4月10日(金)までに電話かFAX

☎&Fax 04-7174-3467 川島

みんなひろ(The みんなのひろば)

※3月14日(土)は中止です

と き 4月11日(土)午後 1:30~4:30

ところ 永楽台児童センター

(永楽台近隣センター内)

内 容 工作「ミサンガ」

その他卓球、ボードゲームなど自由に過ごせます。



問合せ 永楽台児童センター

☎ 04-7163-4050

※発行日現在、柏市立図書館、児童センターなどは、休館になっています。詳しくは「柏市公式ホームページ」、「子育てサイト『はぐはぐ柏』」などをご確認ください。

《運営委員会報告》 2/12 定例運営委員会報告

運営委員会報告に関するご質問・ご意見は事務局 090-7708-0691
Fax 04-7108-1771 (鈴木) まで

【事務局】

- ・12/4 事務カフェ 3名参加 今後の活動確認ほか
- ・くりの木子育て支援:2/6 協力団体おはなしアニメ参加 10組 22名 3/9→中止
- ・みんひろ 2/8 ハートの小物入れ、コースター、卓球ほか 小学生 11名, ボラ 1名, スタッフ 3名 次回 3/14→中止
- ・5/10 市民活動フェスタ子どもの広場への参加 説明会 2/27→中止
- ・はぐはぐ子育て応援フォーラム 3/15→延期
- ・会計について ほか

【広報委員会】

- ・2/6 ほっとハッと通信No.220 特集「ありがとう♡うっちー」作業 10名
- ・2/17 編集会議 3名参加 次年度発行日程ほか

次の定例運営委員会は 3/12(木) 9:30~11:30 永楽台近隣センター和室で行います。時節柄、運営委員のみでの集まりとさせていただきます。

【第23回増尾のもりでいっしょにあそぼう!】

- ・1/21 実行委員会 高校の施設借用依頼中、公園借用許可済、ほか
- ・3/25 ポスターチラシ印刷予定
- ・次回実行委員会 2/21

【わくわく人形劇まつり】

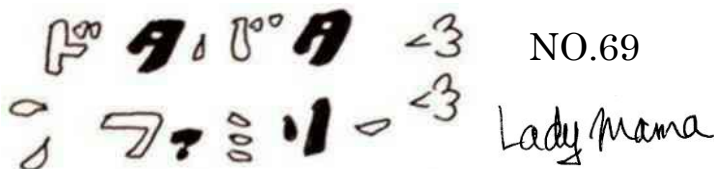
- ・次年度以降の開催について

【福祉委員会】

- ・2/6 るって発行 作業 6名
- ・次回 3/5 発行予定→中止
- 【スキルアップ講座】※パレット 柏 共催 2/16(日)開催 参加 34名
- ・2/2 スタッフミーティング参加 4名

【その他】

- ・2/7 中央公民館審議委員会報告 1名出席



9年間ありがとうございました

コウタが小学部・中学部と9年間通った我孫子特別支援学校を卒業します。小1の頃はひよろひよろでしたが、今はどっしり声変わりもしてすね毛も生えて、毎朝髭剃りをして登校するくらい立派に成長しました。小学校に入った頃は絵もまだ上手ではなくて、ほとんど黒で描いていました。たまに彩りよく描いても最後は黒で上から塗ってしまったり…そこで先生が黒のクレヨンを抜く工夫をしてくださり、それから徐々に描く絵に色が増え、中2では東京オリンピックパラリンピックポスターで表彰されるくらいとても色彩豊かな絵を描くようになりました。自分の思いが伝わらず癩癩を起こしたり友だちに当たることであっても先生が丁寧に付き合っていて聞いて聞かせてくれました。走るのが苦手ですぐに息切れしていたのに、毎日昼休み一緒に走って「ススーハッハー」の呼吸法を教えてくださいました。健常の子が成長の階段を駆け足や2段跳びで駆け上がるところ、この子たちの階段は転ばないように歩きやすいように幅広

で段もすごく低いのだと思います。それでも躓くし少しづつしか登れません。先生はそんな階段を根気強く粘り強く、時には上から引っ張り下から押したりと工夫をしながら子どもたちと共に喜び、励ましながら一緒に歩いてくれました。この9年間で学んだことは自信となり次のステップへと進む大きな糧となっています。子どもたちにとって学校は「心の故郷」になりましたが、私たち親にとっても一緒に成長させてもらったかけがえのない「心の故郷」になっています。本当に楽しい思い出 いっぱいの9年間ありがとうございました。



《こちらほっとハッと通信局》

新型コロナウイルスで大変なことになっていますね。特別支援学校・学級などにお届けしている姉妹紙「るって!」は、やむなく3月号を休刊にしました。一日も早い終息を祈ります(通信局)

次号(NO.222)は 4/2(木)印刷予定です。情報など 3/26(木)までにお寄せください。

- ★今月のカット:
たどろくみこさん (流山おやこ劇場)
- ☆「藤田浩子の『少し昔のこと』」カット:門井すみ子さん